

現在、午前9時30分。曇っています。

昨日の防災訓練「シェイクアウトとやま」は、真面目に取り組んでいて良かったです。さすがは井波中生でした。（様子は、ホームページのスタート画面に掲載）

さて、今、佐々木常夫著「一行の問いかけ」を拝読させていただいています。冒頭の「はじめに」の一部分を、紹介させていただきます。

「人生では、何が正解かわからないし、むずかしい判断を迫られることが少なくありません。ましてや、いまのような『ウィズコロナ』の時代では、前例が通用せず、何を基準に考えればいいのかもわからず、仕事でもプライベートでも、困惑することがたくさんあるでしょう。（中略）そんな時代にあって、私たちはいったいどんな力を身につければよいのでしょうか。」

それは自身で問いを立て、それを自分自身で考えて答えを出すことを繰り返すことです。そのとき、「物事には必ずしも正解はない」という前提に立ち、立ちあらわれる問題に対し、自らの頭で考え判断し、自分なりの答えをつかみ取ること。

ウィズコロナの時代では、何よりそのような『自分で考え抜く力』が求められているのではないかと私は考えます。」

自問自答の習慣を進めたいです。